

12 研修・実習実績

(1) 研修実績

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

期 日	研 修 対 象 者		研修人員	備 考
	所 属	科・学 年 等		
25. 4. 25	自治医科大学卒業医師新任研修	多摩総合医療センター・広尾病院	2	
	合	計	2	

(2) 監察医等実習実績

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

期 間	延日数	所属 (大学・医療機関等)	人 数
H. 25. 4. 1 ～ H. 26. 3. 31	14	東京都監察医務院非常勤監察医 (検案研修修了者)	1
H. 25. 4. 1 ～ H. 26. 3. 31	3	防衛医科大学校法医学教室	1
H. 25. 4. 1 ～ H. 25. 5. 2	6	日本大学医学部6年	1
H. 25. 5. 1 ～ H. 26. 3. 31	8	東邦大学医学部医学科6年	3
H. 25. 5. 1 ～ H. 25. 5. 31	2	筑波大学附属病院初期研修医	1
H. 25. 5. 4	1	山形大学医学部医学科6年	1
H. 25. 5. 7 ～ H. 25. 5. 17	9	神戸大学医学部医学科6年	1
H. 25. 5. 26 ～ H. 25. 12. 31	1	日本医科大学医学部医学科3年	1
H. 25. 5. 23	1	国立精神・神経医療研究センター	1
H. 25. 5. 27	1	国立精神・神経医療研究センター	1
H. 25. 6. 11	1	国立精神・神経医療研究センター	1
H. 25. 6. 1 ～ H. 26. 3. 31	2	聖マリアンナ医科大学医学部医学科5年	1
H. 25. 6. 18	1	国立精神・神経医療研究センター	1
H. 25. 6. 21 ～ H. 26. 3. 31	6	国立精神・神経医療研究センター	1
H. 25. 7. 22 ～ H. 25. 8. 2	12	自治医科大学医学部医学科6年	1
H. 25. 8. 12 ～ H. 25. 8. 23	4	群馬大学医学部医学科5年	1
H. 25. 7. 11 ～ H. 26. 3. 31	20	東京医科大学小児科医	1
H. 25. 8. 26 ～ H. 25. 8. 28	3	群馬大学医学部医学科5年	1
H. 25. 8. 31 ～ H. 25. 11. 30	4	東京医科大学医学部医学科3年	2
H. 25. 9. 11 ～ H. 26. 3. 31	1	独協医科大学病院臨床研修医	1
H. 25. 10. 1 ～ H. 26. 3. 31	1	北海道大学大学院医学研究科法医学分野助教	1
H. 25. 10. 15 ～ H. 25. 11. 30	18	順天堂大学医学部医学科3年	4
H. 25. 11. 18 ～ H. 25. 11. 22	5	東京都青ヶ島村青ヶ島診療所医師	1
H. 25. 11. 29	1	福島県西会津診療所医師	1
H. 25. 11. 1 ～ H. 25. 12. 31	1	東京都北区梶原診療所医師	1
H. 25. 12. 9 ～ H. 25. 12. 13	4	小児総合医療センター医師	1
H. 25. 11. 30 ～ H. 26. 3. 31	5	東京医科大学医学部医学科6年	3
H. 25. 12. 10 ～ H. 26. 3. 31	3	東京医科大学医学部医学科4年	2
H. 26. 3. 3 ～ H. 26. 3. 7	5	東京都利島村国保診療所医師	1
H. 26. 2. 1 ～ H. 26. 3. 31	3	東京大学医学部医学科5年、6年	4
H. 26. 2. 3 ～ H. 26. 3. 31	2	埼玉医科大学6年	1
H. 26. 2. 12 ～ H. 26. 5. 31	2	東京医科大学医学部医学科4年	2
合 計	150		45

(3) 検視官研修

(4) 検視実務専科研修

検視官研修及び、検視実務専科研修については、新医務院新築に伴う仮設庁舎での事業運営のため平成25年度は受入を中止した。

13 平成 25 年研究業績

(1) 論文・著書

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
Suzuki H, Tanifuji T, Abe N, Fukunaga T.	Causes of death in forensic autopsy cases of malnourished persons.	Leg Med (Tokyo). 2013 Jan; 15(1): 7-11.
Mizukami H, Hara S, Kobayashi M, Mori S, Kuriwa F, Fukunaga T.	An autopsy case of bilateral adrenal pheochromocytoma-associated cerebral hemorrhage.	Leg Med (Tokyo). 2013 Mar; 15(2):91-5.
Hikiji W, Tamura N, Shigeta A, Kanayama N, Fukunaga T.	Fatal amniotic fluid embolism with typical pathohistological, histochemical and clinical features.	Forensic Sci Int. 2013 Mar 10; 226(1-3): e16-9.
Suzuki H, Hikiji W, Tanifuji T, Abe N, Fukunaga T.	Medicolegal death of homeless persons in Tokyo Metropolis over 12 years (1999-2010).	Leg Med (Tokyo). 2013 May; 15(3): 126-33.
Suzuki H, Hikiji W, Shigeta A, Fukunaga T.	An autopsy case of a homeless person with unilateral lower extremity edema.	Leg Med (Tokyo). 2013 Jul; 15(4): 209-12.
Ro A, Kageyama N.	Pathomorphometry of ruptured intracranial vertebral arterial dissection: adventitial rupture, dilated lesion, intimal tear, and medial defect.	J Neurosurg. 2013 Jul; 119(1): 221-7.
Suzuki H, Shigeta A, Fukunaga T.	Accidental death of elderly persons under the influence of chlorpheniramine.	Leg Med (Tokyo). 2013 Sep;15(5):253-5.

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
Kanawaku Y, Yanase T, Hayashi K, Harada K, Kanetake J, Fukunaga T.	An autopsy case of otogenic intracranial abscess and meningitis with Bezold's abscess: Evaluation of inflammatory bone destruction by postmortem cone-beam CT.	Leg Med (Tokyo). 2013 Nov;15(6):323-8.
Hikiji W, Yamaguchi K, Saka K, Hayashida M, Ohno Y, Fukunaga T.	Acute fatal poisoning with Tolfenpyrad.	J Forensic Leg Med. 2013 Nov; 20(8): 962-4.
Inoue K, Fukunaga T, Nata M, Abe S, Okazaki Y.	Discussion of extensive suicide prevention based on suicide statistics from 2006 to 2009 in Mie Prefecture, Japan.	Int Med J. 2013 Dec; 20(6): 646-8.
Inoue K, Fukunaga T, Okazaki Y, Abe S, Nata M, Fujita Y.	Is consumer spending an indicator of changes in the suicide rate? - A study based on trends in Tsu City.	Shimane J Med Sci. 2013; 30: 33-6.
Inoue K, Fukunaga T, Okazaki Y, Fujita Y, Iida T, Tatebayashi H, Moriwaki S, Uchida T, Funo Y, Murakami Y, Matsuchika M, Fujita Y.	Investigation of suicide trends focusing on age groups and a proposal for urgent suicide prevention based on the results.	Shimane J Med Sci. 2013; 30: 37-45.
Mizukami H, Hara S, Kobayashi M, Takahashi S, Mori S, Kuriwa F, Fukunaga T.	Rupture of abdominal aortic aneurysm associated with long-term steroid therapy - A case report.	Leg Med (Tokyo). doi:p11: S1344-6223(13)00098-9. 10.1016/j.legalmed.2013.09.004. Epub 2013 Sep 27.
Suzuki H, Hayashi K, Fukunaga T.	Two forensic autopsy cases of death from unexpected lesions of the pituitary gland.	Leg Med (Tokyo). doi: 10.1016/j.legalmed.2013.10.004. Epub 2013 Oct 19.
小林正宗, 水上 創, 原 修一, 栗岩ふみ, 森晋二郎, 福永龍繁, 永井智紀.	内因性急死症例における ADAMTS13 遺伝子変異解析.	DNA 多型. 2013 May 30; 21: 265-9.

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
呂 彩子, 景山則正, 内ヶ崎西作.	膝窩静脈瘤内血栓による致死性肺血栓塞栓症の一剖検例.	心臓 2013 Jul; 45(7): 911-3.
高田 綾, 高橋識志, 永井智紀, 齋藤一之, 黒須 明, 黒須勝美, 森晋二郎.	法医解剖でみられた脳アミロイドアンギオパチーの2剖検例.	法医学の実際と研究 2013 Nov; 56: 107-12.
高橋識志, 景山則正, 呂 彩子, 林 紀乃, 太齋典男, 高田 綾, 齋藤一之, 原正昭, 福永龍繁.	下垂体機能低下症による二次性副腎不全に敗血症を合併した若年成人の一剖検例.	法医学の実際と研究 2013 Nov; 56: 113-20.
永井智紀, 竹下裕史, 高田女里, 高橋識志, 畔柳三省, 景山則正, 高田 綾, 齋藤一之, 向井敏二.	陳旧性大動脈解離による大動脈食道瘻の一剖検例.	法医学の実際と研究 2013 Nov; 56: 127-31.
Inoue K, Nishimura M, Fukunaga T, Okazaki Y, Fujita Y.	Need for further specific measures to prevent suicide from various viewpoints based on a discussion of suicide and alcohol: A review.	Int Med J. 2013 Apr; 20(2): 129-30.
福永龍繁.	死体検案.	ドクターサロン 2013 Jul 20; 57(8): 584-8.
福永龍繁, 鈴木秀人, 引地和歌子.	東京都23区における小児異状死例の疫学的検討.	厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)「我が国におけるチャイルド・デス・レビューに関する研究」平成24年度総括・分担研究報告書(研究代表者 小林美智子). 大阪, 2013 Mar; 5-6, 46-9, 145-52, 210-3.
福永龍繁, 鈴木秀人, 引地和歌子.	東京都監察医務院で取り扱った5歳未満児の分析.	厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)「我が国におけるチャイルド・デス・レビューに関する研究」平成22~24年度総合研究報告書(研究代表者 小林美智子). 大阪, 2013 Mar; 5, 79-82.

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
福永龍繁.	わが国の死亡届と死因究明制度の 実際と課題.	厚生労働科学研究費補助金（政策 科学総合研究事業）「我が国におけ るチャイルド・デス・レビューに 関する研究」（研究代表者 小林美 智子），提言「子どもの死亡予防の ためのチャイルド・デス・レビュ ー創設のためのガイドライン」．大 阪，2013 Mar；10-2.
竹島 正，勝又陽太郎，福永 龍繁，鈴木秀人，松本俊彦， 川野健治，大類真嗣，廣川聖 子，立森久照，森 隆夫，秋 田宏弥，赤澤正人.	自殺の心理学的剖検の実施に関す る研究.	厚生労働科学研究費補助金（障害 者対策総合研究事業）「自殺の原因 分析に基づく効果的な自殺防止対 策の確立に関する研究」平成 22～ 24 年度総括研究報告書（研究代表 者 加我牧子）．東京．2013 Mar， pp. 25-36.
福永龍繁，谷藤隆信，鈴木秀 人，引地和歌子，谷藤隆信， 柴田幹久，阿部伸幸.	自殺手段の実態と自殺予防に関す る研究.	厚生労働科学研究費補助金（障害 者対策総合研究事業）「自殺の原因 分析に基づく効果的な自殺防止対 策の確立に関する研究」平成 22～ 24 年度総括研究報告書（研究代表 者 加我牧子）．東京．2013 Mar， pp. 53-58.
福永龍繁，柴田幹良，谷藤隆 信，引地和歌子，鈴木秀人， 阿部伸幸.	監察医務院における異状死の検 案・解剖結果からみた薬物濫用・ 依存等の実態に関する研究.	平成 24 年度厚生労働科学研究費補 助金（医薬品・医療機器等レギュ ラトリーサイエンス総合研究事 業）「薬物乱用・依存等の実態把握 と薬物依存症者に関する制度的社 会資源の現状を課題に関する研究 （H23-医薬-一般-014）」平成 24 年 度研究報告書（研究代表者 和田 清）．東京．2013 Mar， pp. 8-9， 171-6.

(2) 学会発表等

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
Hayashi K, Asakura K, Satoh F, Kikuchi Y, Fukunaga T.	Sudden Death of two patients with undiagnosed Graves' Disease.	National Association of Medical Examiners 2013 Annual Meeting. 2013. 10, Milwaukee, WI, USA.
福永龍繁, 谷藤隆信, 鈴木秀人, 引地和歌子, 谷藤隆信, 柴田幹久, 阿部伸幸.	自殺手段の実態と自殺予防に関する研究.	厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）「自殺の原因分析に基づく効果的な自殺防止対策の確立に関する研究」班会議, 2013. 1. -9, 東京都中央区.
福永龍繁, 柴田幹良, 谷藤隆信, 引地和歌子, 鈴木秀人, 阿部伸幸.	監察医務院における異状死の検案・解剖結果からみた薬物濫用・依存等の実態に関する研究.	平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）「薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の現状を課題に関する研究（H23-医薬-一般-014）」班会議報告会. 2013. 2. 23, 川口市.
鈴木秀人, 引地和歌子, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 菊地洋介, 福永龍繁.	東京都 23 区における小児事故死の事例解析.	第 19 回日本 SIDS・突然死予防学会. 2013. 3. 1-2, 要旨集: p20, 福岡市.
福永龍繁.	虐待と法医学.	一般社団法人日本小児科医会第 15 回「子どもの心」研修会. 2013. 5. 25, 神戸市. 要旨: 前期講演集 pp. 22-8.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日
林 紀乃, 朝倉久美子, 高橋 識志, 菊地洋介, 濱松晶彦, 佐藤文子.	上部消化管バリウム検査後に S 状 結腸穿孔により急死した 1 例.	第 102 回日本病理学会総会. 2013. 6. 6-8, 札幌.
福永龍繁.	アルコール代謝の個人差・民族差 に関する研究（特別講演 I）.	第 97 次日本法医学会学術全国集 会. 2013. 6. 27, 札幌. 要旨：日 法医誌 2013 May; 67(1): 42-3.
小林正宗, 水上 創, 原 修 一, 栗岩ふみ, 永井智紀, 森 晋二郎, 福永龍繁.	内因性急死における ADAMTS13 遺伝 子変異解析 (A8).	第 97 次日本法医学会学術全国集 会. 2013. 6. 27, 札幌. 要旨：日 法医誌 2013 May; 67(1): 62.
鈴木秀人, 谷藤隆信, 阿部伸 幸, 福永龍繁.	東京都 23 区における悪性腫瘍異状 死例の疫学調査 (B31).	第 97 次日本法医学会学術全国集 会. 2013. 6. 28, 札幌. 要旨：日 法医誌 2013 May; 67(1): 74.
呂 彩子, 景山則正, 福永龍 繁.	伝導系心筋の走行に沿った連続組 織切片観察 (P23).	第 97 次日本法医学会学術全国集 会. 2013. 6. 27, 札幌. 要旨：日 法医誌 2013 May; 67(1): 84.
谷藤隆信, 阿部伸幸, 鈴木秀 人, 柴田幹良, 引地和歌子, 則武香菜子, 福永龍繁.	相関ルールを応用した自殺原因の 探索 (P54).	第 97 次日本法医学会学術全国集 会. 2013. 6. 27, 札幌. 要旨：日 法医誌 2013 May; 67(1): 92.
井上 顕, 福永龍繁.	薬物事犯の年齢層別検討からみた 薬物問題対策 (P69).	第 97 次日本法医学会学術全国集 会. 2013. 6. 27, 札幌. 要旨：日 法医誌 2013 May; 67(1): 96.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
水上 創, 加藤幸久, 原修一, 小林正宗, 森晋二郎, 栗岩ふみ, 福永龍繁.	LP ガスが検出された剖検 11 例 (P124).	第 97 次日本法医学会学術全国集会. 2013. 6. 28, 札幌. 要旨: 日法医誌 2013 May; 67(1): 109.
朝倉久美子, 前橋恭子, 小沢昌慶, 松本紗里, 福永龍繁, 岩楯公晴.	The influence of variations of blood volume for ethanol concentrations in an experimental model (SP8).	第 97 次日本法医学会学術全国集会. 2013. 6. 28, 札幌. 要旨: 日法医誌 2013 May; 67(1): 118.
柴田幹良, 加藤幸久, 前田雅子, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 鈴木秀人, 引地和歌子, 福永龍繁.	東京都 23 区における入浴中突然死と血中アルコール及び薬物濃度 (口演 04-1).	平成 25 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 (第 48 回日本アルコール・薬物医学会総会). 2013. 10. -5, 岡山. 要旨: 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2013 Aug; 48(4): 128.
鈴木秀人, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 柴田幹良, 福永龍繁.	血中よりカフェインの検出を認めた行政解剖例の事例調査 (口演 04-2).	平成 25 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 (第 48 回日本アルコール・薬物医学会総会). 2013. 10. -5, 岡山. 要旨: 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2013 Aug; 48(4): 129.
福永龍繁.	日本の死因究明制度～現状と将来展望 (シンポジウム 21-1).	第 72 回日本公衆衛生学会総会, シンポジウム 21 法医学と公衆衛生の接点. 2013. 10. 25, 津市. 要旨: 日本公衆衛生雑誌 2013 Oct; 60(10): 144.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
林 紀乃.	肺の結核，膿瘍，癌病変の見分け方～肉眼所見で結核を疑った14例.	第20回法医病理秋期セミナー. 2013. 11. 23, 長崎.
林 紀乃.	異常気象に関連する死亡.	第20回法医病理秋期セミナー. 2013. 11. 23, 長崎.
呂 彩子, 景山則正.	破裂脳動脈瘤の病理形態学的計測：前大脳動脈瘤と中大脳動脈瘤の比較.	第29回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会. 2013. 11. 21-23, 新潟.
景山則正, 呂 彩子.	出血性左右椎骨動脈解離の剖検例：病理組織からみた反覆性解離の経過.	第10回日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 2013. 6. -1, 東京.
鈴木秀人, 柴田幹良, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 引地和歌子, 福永龍繁.	東京都23区における浴槽内異状死例の死因統計（指定口演）.	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 13.
菊地洋介, 太齋典男, 柴田幹良, 坂本敦司, 福永龍繁.	トイレ用酸性洗剤（サンポール®）を経口摂取後の遅発性突然死の一剖検例（口演10）.	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 23.
高橋識志, 景山則正, 星野則夫, 朝倉久美子, 原 正昭, 高田綾, 齋藤一之.	大動脈の穿通性潰瘍により胸腔内出血をきたし死亡した一剖検例（展示 P13）.	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 42.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
小沢昌慶, 岩楯公晴, 杉本紗里, 朝倉久美子, 菅藤裕子, 酒井健太郎.	肝外発育型肝細胞癌の破裂が死因と考えられる1剖検例(展示 P17).	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 46.
鈴木秀人, 林 紀乃, 福永龍繁.	下垂体病変が原死因と推定された2剖検例(展示 P18).	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 47.
呂 彩子, 景山則正, 福永龍繁.	Lemierre 症候群による若年者突然死の1剖検例(展示 P19).	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 48.
水上 創, 林 紀乃, 景山則正, 小林正宗, 原 修一, 栗岩ふみ, 福永龍繁.	松果体腫瘍の1剖検例(展示 P21).	第82回日本法医学会学術関東地方集会, 2013. 10. 19, 横浜. 要旨集 p. 50.
林 紀乃.	BCG後に肝臓に多発性肉芽腫性病変を認めた乳幼児突然死の一例.	第178回東京サルコイドーシス／肉芽腫性疾患研究会. 2013. 12, 東京.
中田和義, 小山新吾, 阿部伸幸, 谷藤隆信, 金涌佳雅, 福永龍繁.	立川市における孤独死の統計的実態.	第9回東京都福祉保健医療学会(平成25年度), 2013. 12. 18, 東京.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
福永龍繁.	異状死体の判断基準と死因究明制度.	自衛隊中央病院研修会, 2013. 2. -4, 目黒区.
福永龍繁.	在宅死と死体検案.	日本医師会平成 24 年度死体検 案研修会. 2013. 2. 18, 文京区.
福永龍繁.	死体検案.	ラジオ Nikkei, 2013. 3. -5. 短 波放送, インターネット放送.
福永龍繁.	監察医制度の意義.	東京都医師会平成 25 年度地区 医師会地域担当理事連絡会. 2013. 6. 13, 千代田区.
福永龍繁.	日本の死因究明制度のあり方.	自由民主党政務調査会死因究明 体制推進に関する PT. 2013. 6. 18, 千代田区.
福永龍繁.	孤独死の現状.	千葉大学医学部附属病院第 5 回 「Project Health 2020」推進の ための意見交換会. 2013. 7. 12, 千葉市.
福永龍繁.	日本の死因究明制度の現状と将来 展望.	公益財団法人東京都医学総合研 究所 都医研セミナー. 2013. 8. -1, 世田谷区.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
福永龍繁.	異状死について.	東京都北区医師会学術講演会. 2013. 9. 10, 東京都北区.
福永龍繁.	日本の死因究明制度の現状と将来展望.	日本弁護士連合会 死因究明シンポジウム. 2013. 9. 21, 千代田区.
福永龍繁.	大規模災害・事故と監察医制度.	危機管理勉強会齋藤塾, 第37回勉強会. 2013. 11. -6, 新宿区.
福永龍繁.	お酒が飲める, 飲めない? ~アルコール代謝の個人差・民族差.	第22回東京都監察医務院公開講座. 2013. 11. 14, 豊島区.
小島原將直.	浴槽内死亡の因果性~「溺死」をめぐって.	第22回東京都監察医務院公開講座. 2013. 11. 14, 豊島区.